

直樹
175

一に己盡力の以て陰を

以て緒を閉くに及り

謝するに辭なく

只に感佩はる者

事甚盛美なりと
雅也

是を密にするに

跡自淺薄の思想

を以て成能ふ

ものにあらず其方

才と固め



とあり成能なる
ものにあはるす其方
針と目的とを定め順
序をもち準備整はり
非常の熱心と極め
周到徹底から考
慮を以て方
畧其宜しき得て
確乎不拔の氣力と
忍耐の精神とを
要するところ存あり
第一自映君沈着
の勇氣如何なる艱
難困苦も堪わら
ぬは決心次に自映君
と輔け事當りの
人物ありては取

のいふ心次に直映君

と輔け事當りの

人物弟三には水

田所役人の其事

任するもの責任是等

は重要な事とお考

ぬ而して今

尊兄の少盡力

依り此を重りて三付

最早直彬に水田

所内にて喋りせざる

と佳すと云ふ如是

事、説く者二途

出てもては宜し

かすすに付専ら

尊兄大綱と持せ

直映君に内能く

直映君の尚能く
上六細事^のは
吉河、^のお願
北口^のは
市也^のは
先^のは
次^のは
二月六日

直彬

大隈大先格者